

基本計画書

基本計画											
事項	記入欄							備考			
計画の区分	研究科の専攻に係る課程の変更										
フリガナ者設置者	コウリツダイガクホウジン フクオカジョシダイガク 公立大学法人 福岡女子大学										
フリガナ大学の名称	フクオカジョシダイガクダイガクイン 福岡女子大学大学院 (Fukuoka Women's University Graduate School)										
大学本部の位置	福岡県福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号										
大学の目的	学術の理論及び応用を教授研究し、精深な学識と研究能力等を養い、文化の進展に寄与することを目的とする。										
新設学部等の目的	1) 日本国内外の政治経済においてその分野を牽引する事が出来る創造性豊かな教育研究者の育成、 2) 国際社会で活躍できる高い識見と政治経済に関する高度な専門知識を持ち、新たな解決策を提示できる人材の育成を目指す。										
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部等】 国際文理学部 国際教養学科 人文社会科学研究科 社会科学専攻(M) 14条特例の実施		
	人文社会科学研究科 (Graduate School of Humanities and Social Sciences) 社会科学専攻(D) (Doctor's Program for Social Sciences)	年	人	年次人	人	博士 (社会科学)	平成29年4月 第1年次	福岡県福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号			
	計	3	2	—	6						
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	人間環境科学研究科人間環境科学専攻の課程変更(博士課程) (2) (平成28年3月認可申請) 人文社会科学研究科言語文化専攻の課程変更(博士課程) (2) (平成28年4月届出) 文学研究科(廃止) 英文学専攻(博士後期課程) (△ 3) ※平成29年4月学生募集停止										
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数					
	人文社会科学研究科 社会科学専攻(D)	講義	演習	実験・実習	計	14単位					
教員の組織概要	学部等の名称			専任教員等					兼任教員等		
				教授	准教授	講師	助教	計		助手	
	新設	人文社会科学研究科 社会科学専攻(D)			6人 (6)	4人 (4)	0人 (0)	0人 (0)	10人 (10)	0人 (0)	4人 (4)
		人文社会科学研究科 言語文化専攻(D)			8人 (8)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	9人 (9)	0人 (0)	4人 (4)
		人間環境科学研究科 人間環境科学専攻(D)			9人 (9)	6人 (6)	0人 (0)	0人 (0)	15人 (15)	0人 (0)	4人 (4)
	区分	計			23人 (23)	11人 (11)	0人 (0)	0人 (0)	34人 (34)	0人 (0)	12人 (12)
		既設	人文社会科学研究科 社会科学専攻(M)			9人 (9)	9人 (9)	0人 (0)	0人 (0)	18人 (18)	0人 (0)
	人文社会科学研究科 言語文化専攻(M)			9人 (9)	5人 (5)	1人 (1)	0人 (0)	15人 (15)	0人 (0)	14人 (14)	
	人間環境科学研究科 人間環境科学専攻(M)			16人 (16)	9人 (9)	5人 (5)	0人 (0)	30人 (30)	0人 (0)	12人 (12)	
	区分	計			34 (34)	23 (23)	6 (6)	0人 (0)	63 (63)	0人 (0)	12人 (12)
合計			37 (37)	23 (23)	6 (6)	0 (0)	66 (66)	0 (0)	35 (35)		

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		28 (27) 人	22 (22) 人	50 (49) 人					
	技 術 職 員		0 (0)	1 (1)	1 (1)					
	図 書 館 専 門 職 員		1 (0)	3 (4)	4 (4)					
	そ の 他 の 職 員		1 (1)	0 (0)	1 (1)					
	計		30 (28)	26 (27)	56 (55)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	校 舎 敷 地	37,543.58㎡	0㎡	0㎡	37,543.58㎡					
	運 動 場 用 地	4,018.50㎡	0㎡	0㎡	4,018.50㎡					
	小 計	41,562.08㎡	0㎡	0㎡	41,562.08㎡					
	そ の 他	14,333.99㎡	0㎡	0㎡	14,333.99㎡					
	合 計	55,896.07㎡	0㎡	0㎡	55,896.07㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
		26,404.1㎡ (28,443.1㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	26,404.1㎡ (28,443.1㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設					
	13室	7室	27室	2室 (補助職員 0人)	8室 (補助職員 0人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数						
		人文社会科学研究科社会科学専攻(D)		10 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	研究科単位での特定 不能なため、大学全 体の数		
	人文社会科学研究科 社会科学専攻(D)	188,612 [45,401] (183,402 [45,401])	2,612 [244] (2,612 [244])	14 [14] (14 [14])	1,516 (1,516)	125 (125)	0 (0)			
	計	188,612 [45,401] (183,402 [45,401])	2,612 [244] (2,612 [244])	14 [14] (14 [14])	1,516 (1,516)	125 (125)	0 (0)			
図書館		面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			大学全体		
		2,448.1㎡	250		220,000					
体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					弓道場H29年度完成予定		
		1,286.8㎡	弓道場				—			
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	県外生の第1年次の 納付金は、1,056千 円
		教員1人当り研究費等		327千円	327千円	327千円	—千円	—千円	—千円	
		共同研究費等		140千円	140千円	140千円	—千円	—千円	—千円	
		図書購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	—千円	—千円	—千円	
	設備購入費	0千円	0千円	0千円	—千円	—千円	—千円	—千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		818千円	536千円	536千円	—千円	—千円	—千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			福岡県(設立団体)からの運営費交付金により維持する。							
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称		福岡女子大学							
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
		年	人	年次 人	人		倍			
	文学部						—		福岡県福岡市東区香 住ヶ丘1丁目1番1 号	平成23年度より学生 募集停止
	国文学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和 29年度		
	英文学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和 29年度		平成23年度より学生 募集停止
	人間環境学部						—			
環境理学科	4	—	—	—	学士 (人間環境学)	—	平成 7年度		平成23年度より学生 募集停止	
栄養健康科学科	4	—	—	—	学士 (人間環境学)	—	平成 7年度		平成23年度より学生 募集停止	
生活環境学科	4	—	—	—	学士 (人間環境学)	—	平成 7年度		平成23年度より学生 募集停止	

既設大学等の状況	国際文理学部						1.03		
	国際教養学科	4	135	—	540	学士 (国際教養)	1.04	平成 23年度	
	環境科学科	4	70	—	280	学士 (環境科学)	1.02	平成 23年度	
	食・健康学科	4	35	—	140	学士 (食健康学)	1.03	平成 23年度	
	文学研究科						—		
	国文学専攻(M)	2	5	—	10	修士 (文学)	—	平成 5年度	平成27年度より学生 募集停止
	英文学専攻(M)	2	5	—	10	修士 (文学)	—	平成 5年度	平成27年度より学生 募集停止
	英文学専攻(D)	3	3	—	9	博士 (文学)	—	平成 9年度	平成29年度より学生 募集停止
	人間環境学研究科						—		
	環境理学専攻(M)	2	4	—	8	修士 (人間環境学)	—	平成 12年度	平成27年度より学生 募集停止
	栄養健康科学専攻(M)	2	4	—	8	修士 (人間環境学)	—	平成 12年度	平成27年度より学生 募集停止
	生活環境学専攻(M)	2	4	—	8	修士 (人間環境学)	—	平成 12年度	平成27年度より学生 募集停止
	人文社会科学研究科						1.06		
	言語文化専攻(M)	2	4	—	8	修士 (文学)	1.12	平成 27年度	
	社会科学専攻(M)	2	4	—	8	修士 (社会科学)	1.00	平成 27年度	
	人間環境科学研究科						0.91		
人間環境科学専攻(M)	2	12	—	24	修士 (人間環境科学)	0.91	平成 27年度		
附属施設の概要	該当なし								

公立大学法人福岡女子大学 設置認可等に関わる組織の移行表

平成28年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		平成29年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
福岡女子大学				→	福岡女子大学				
国際文理学部					国際文理学部				
国際教養学科	135	-	540		国際教養学科	135	-	540	
環境科学科	70	-	280		環境科学科	70	-	280	
食・健康科学科	35	-	140		食・健康科学科	35	-	140	
計	240	-	960		計	240	-	960	
福岡女子大学大学院				→	福岡女子大学大学院				
人文社会科学研究科					人文社会科学研究科				
言語文化専攻(M)	4	-	8		言語文化専攻(M)	4	-	8	
社会科学専攻(M)	4	-	8		<u>言語文化専攻(D)</u>	<u>2</u>	-	<u>6</u>	課程変更(届出)
					社会科学専攻(M)	4	-	8	
					<u>社会科学専攻(D)</u>	<u>2</u>	-	<u>6</u>	課程変更(認可申請)
人間環境科学研究科					人間環境科学研究科				
人間環境科学専攻(M)	12	-	24		人間環境科学専攻(M)	12	-	24	
					<u>人間環境科学専攻(D)</u>	<u>3</u>	-	<u>9</u>	課程変更(認可申請)
文学研究科					文学研究科				
英文学専攻(D)	3	-	9			<u>0</u>	-	<u>0</u>	平成29年4月学生募集停止
計	23	-	49		計	<u>27</u>	-	<u>61</u>	

教 育 課 程 等 の 概 要														
(人文社会科学研究科社会科学専攻(D))														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合演習	社会科学総合演習A	1後		1			○		5	4				共同
	社会科学総合演習B	2前		1			○		5	4				共同
	社会科学総合演習C	2後		1			○		5	4				共同
	小計 (3科目)	—	0	3	0	—			5	4	0	0	0	0
専門科目	社会科学特別講義A(国際関係分野)	1・2・3前		2		○								兼1 集中・隔年
	社会科学特別講義B(経済分野)	1・2・3後		2		○								兼1 集中・隔年
	社会科学特別講義C(経済分野)	1・2・3前		2		○								兼1 集中・隔年
	社会科学特別講義D(国際関係分野)	1・2・3後		2		○								兼1 集中・隔年
	小計 (4科目)	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	兼4 —
科目修	国際社会特殊研修	1・2・3通		2			○		2	1				共同
	小計 (1科目)	—	0	2	0	—			2	1	0	0	0	0
特殊研究科目	社会科学特殊研究ⅠA	1前	2				○		6	2				
	社会科学特殊研究ⅠB	1後	2				○		6	2				
	社会科学特殊研究ⅡA	2前	2				○		6	2				
	社会科学特殊研究ⅡB	2後	2				○		6	2				
	社会科学特殊研究ⅢA	3前	2				○		6	2				
	社会科学特殊研究ⅢB	3後	2				○		6	2				
	小計 (6科目)	—	12	0	0	—			6	4	0	0	0	0
合計 (14科目)		—	12	13	0	—			6	4	0	0	0	兼4 —
学位又は称号	博士(社会科学)		学位又は学科の分野			法学関係、経済学関係、社会学・社会福祉学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
「社会科学特殊研究ⅠA～ⅢB」12単位と「社会科学総合演習A・B・C」から2単位、合計14単位以上を修得し、博士学位論文の審査に合格すること。							1学年の学期区分			2学期				
							1学期の授業期間			15週				
							1時限の授業時間			90分				

教育課程等の概要																
(人文社会科学部社会科学専攻(M))																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	産業社会解釈特別研究	1前		2				○		1						
	東アジア人口論特別研究	1・2後		2			○			1						
	マクロ経済学特別研究Ⅰ	1・2前		2			○			1						
	マクロ経済学特別研究Ⅱ	1・2後		2			○			1						
	ミクロ経済学特別研究Ⅰ	1・2前		2			○				1					
	ミクロ経済学特別研究Ⅱ	1・2後		2			○				1					
	国際経済学特別研究Ⅰ	1・2前		2			○				1					
	国際経済学特別研究Ⅱ	1・2後		2			○				1					
	経営学特別研究Ⅰ	1・2前		2			○			1						
	経営学特別研究Ⅱ	1・2後		2			○			1						
	国際経営特別研究	1・2後		2			○			1						
	人間関係論特別研究	1・2前		2			○				1					
	国際関係論特別研究Ⅰ	1・2前		2			○				1					
	国際関係論特別研究Ⅱ	1・2後		2			○				1					
	国際法特別研究Ⅰ	1・2前		2			○				1					
	国際法特別研究Ⅱ	1・2後		2			○				1					
	比較憲法学特別研究	1・2後		2			○			1						
	国際関係史特別研究Ⅰ	1・2前		2			○				1					
	国際関係史特別研究Ⅱ	1・2後		2			○				1					
	政治哲学特別研究	1・2後		2				○		1						
	グローバル協力論特別研究Ⅰ	1・2前		2			○				1					
	グローバル協力論特別研究Ⅱ	1・2後		2			○				1					
	国際社会学特別研究Ⅰ	1・2前		2			○				1					
	国際社会学特別研究Ⅱ	1・2後		2			○				1					
	ジェンダー特別研究	1・2前		2				○		1						
	比較社会特別研究	1・2後		2			○			1					※講義 ※演習	
	比較地域文化特別研究	1・2前		2			○				1					
	中国現代文学と文化特別研究	1・2後		2				○		1						
	共通	国際演習Ⅰ	1通	1					○		9	5				
		国際演習Ⅱ	2通	1					○		9	5				
	小計(30科目)	—	2	56	0			—		9	9	0	0	0	兼0	
基本科目	研究の倫理と方法	1・2前	2					○							兼1	
	歴史と社会	1・2前		2				○							兼1	
	グローバル社会と英語	1・2後		2				○							兼1	
	アカデミックライティング・プレゼンテーション	1・2前		2				○							兼1	
	人文・社会統計学	1・2後		2				○							兼1	
	国際研究活動	1・2後		2				○			3				兼2 ※実習・集中	
	小計(6科目)	—	2	10	0			—		0	3	0	0	0	兼6	
研究指導科目	修士特別研究	1~2	8					○		9	5					
	小計(1科目)	—	8	0	0			—		9	5	0	0	0	0	
合計(37科目)		—	12	66	0			—		9	9	0	0	0	兼6	
学位又は称号	修士(社会科学)		学位又は学科の分野			法学関係、経済学関係										
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
修了要件 30単位																
1) 専門科目						1 学年の学期区分				2 学期						
必修科目を含む18単位以上																
国際演習Ⅰ(必修) 1単位																
国際演習Ⅱ(必修) 2単位																
(ただし、所属する各コースの科目から12単位以上)																
2) 基本科目						1 学期の授業期間				1 5 週						
必修科目を含む4単位以上																
研究の倫理と方法(必修) 2単位																
3) 研究指導科目						1 時限の授業時間				9 0 分						
修士特別研究 8単位																

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要														
(国際文学部 国際教養学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
ファーストイヤー・ゼミ	ファーストイヤー・ゼミⅠ	1前	1				○		15	16	4			兼33
	ファーストイヤー・ゼミⅡ	1後	1				○		15	16	4			兼33
	小計(2 科目)		2	0	0		—		15	16	4	0	0	兼32
学術英語プログラム(AEP)	学術英語コミュニケーションⅠ	1前	1				○				9	1		兼2
	学術英語コミュニケーションⅡ	1後	1				○				6			兼6
	学術英語コミュニケーションⅢ	2前	1				○				6			兼5
	学術英語コミュニケーションⅣ	2後	1				○				9	1		兼5
	学術英語リスニングⅠ	1前	1				○				8			兼2
	学術英語リスニングⅡ	1後	1				○				5	1		兼3
	学術英語リーディングⅠ	1前	1				○				9	1		兼4
	学術英語リーディングⅡ	1前	1				○				5	1		兼8
	学術英語リーディングⅢ	1後	1				○		2	2	8	1		兼3
	学術英語リーディングⅣ	1後	1				○		2	2	8	1		兼3
	学術英語リーディングⅤ	2前	1				○		2	2	7	1		兼3
	学術英語ライティングⅠ	1前	1				○				6	1		兼5
	学術英語ライティングⅡ	1後	1				○				8			兼4
	学術英語ライティングⅢ	2前	1				○				9			兼1
	学術英語ライティングⅣ	2後	1				○		2		7	1		兼5
	小計(15 科目)		15	0	0		—		4	2	9	1	0	兼17
学術日本語プログラム(AJP)	学術日本語リーディングⅠ	1前			1		○			1	1			
	学術日本語リーディングⅡ	1後			1		○			1	1			
	学術日本語リーディングⅢ	2前			1		○			1	1			
	学術日本語ライティングⅠ	1前			1		○			1	1			
	学術日本語ライティングⅡ	1後			1		○			1	1			兼1
	学術日本語ライティングⅢ	1後			1		○			1	1			
	学術日本語ライティングⅣ	2前			1		○			1	1			兼1
	学術日本語ライティングⅤ	2後			1		○			1	1			兼1
	学術日本語リスニングⅠ	1前			1		○			1	1			
	学術日本語リスニングⅡ	1後			1		○			1	1			
	学術日本語コミュニケーションⅠ	1前			1		○			1	1			
	学術日本語コミュニケーションⅡ	2前			1		○			1	1			
	学術日本語コミュニケーションⅢ	2後			1		○			1	1			
	学術日本語日本事情Ⅰ	1前			1		○			1	1			
学術日本語日本事情Ⅱ	1後			1		○			1	1				
	小計(15 科目)		0	0	15		—		0	1	1	0	0	兼1
アドバンスト・イングリッシュ	英語上級Ⅰ	2・3・4後		1			○		1					
	英語上級Ⅱ	2・3・4後		1			○				1			
	英語上級Ⅲ	2・3・4後		1			○				1			
	小計(3 科目)		0	3	0		—		1	0	2	0	0	0
外国語科目	中国語Ⅰ	1前		1			○		1	1				兼3
	中国語Ⅱ	1前		1			○		1					兼2
	中国語Ⅲ	1後		1			○		1	1				兼2
	中国語Ⅳ	1後		1			○		1					兼2
	中国語Ⅴ	2前		1			○		1					兼2
	中国語Ⅵ	2後		1			○		1					兼2
	韓国語Ⅰ	1前		1			○							兼1
	韓国語Ⅱ	1前		1			○			1				兼1
	韓国語Ⅲ	1後		1			○							兼1
	韓国語Ⅳ	1後		1			○			1				兼1
	韓国語Ⅴ	2前		1			○			1				兼1
	韓国語Ⅵ	2後		1			○			1				兼1
	ドイツ語Ⅰ	1前		1			○		1					
	ドイツ語Ⅱ	1前		1			○			1				
	ドイツ語Ⅲ	1後		1			○		1					
	ドイツ語Ⅳ	1後		1			○			1				
	ドイツ語Ⅴ	2前		1			○			1				
	ドイツ語Ⅵ	2後		1			○			1				
	フランス語Ⅰ	1前		1			○				1			兼3
	フランス語Ⅱ	1前		1			○							兼3
	フランス語Ⅲ	1後		1			○							兼3
	フランス語Ⅳ	1後		1			○							兼3
	フランス語Ⅴ	2前		1			○			1				兼3
	フランス語Ⅵ	2後		1			○							兼3
	英語Ⅰ	1前		1			○							兼1
	英語Ⅱ	1前		1			○							兼1
	英語Ⅲ	1後		1			○							兼1
	英語Ⅳ	1後		1			○							兼1
	小計(28 科目)		0	28	0		—		3	4	0	0	0	兼9

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要																
(国際文理学部 国際教養学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部 共通科目	情報活用科目	情報インテリジェンス	1前・後	2				○							兼5 ※講義	
		情報リテラシー	1前	2				○							兼4 ※講義	
		小計(2 科目)		2	2	0		—		0	0	0	0	0	兼5	
	日本文化 理解科目	日本の伝統文化	1前		2			○				1				
		現代日本文化	1前		2			○					1			
		福岡の文化と社会	1後		2			○			1					
		日本の地域社会とジェンダー	1後		2			○			1					
		小計(4 科目)		0	8	0		—		2	1	1	0	0		
	語学研修科目	海外語学研修Ⅰ	1・2・3通		1				○		1					
		海外語学研修Ⅱ	2・3・4通		1				○		1					
		小計(2 科目)		0	2	0		—		1	0	0	0	0	0	
	体験学習科目	フィールドスタディ	1通		2					○	1	1				兼2
		国際インターンシップ	1・2・3・4通		2					○	1	1				兼2
フィールドワーク		1・2・3・4通		2					○	1	1				兼2	
サービスラーニング		1・2・3・4通		2					○	1	1				兼2	
	小計(4 科目)		0	8	0		—		1	1	0	0	0	兼2		
共通 基盤科目	総合科目	グローバル化と多様性社会	1・2前		2			○			1	1			兼1 オムニバス	
		地球環境と人類の未来	1・2前		2			○				2			兼3 オムニバス	
		現代社会における生命と健康	1・2後		2			○				2			兼3 オムニバス	
		小計(3 科目)		0	6	0		—		1	5	0	0	0	兼7	
	人文科学	国際文化論	1・2・3・4前		2			○				1				
		ジェンダー	1・2・3・4前		2			○								
		日本の言語と世界	1・2・3・4前		2			○				1				
		欧米言語文化概論	1・2・3・4前		2			○				1				
		言語とコミュニケーション	1・2・3・4後		2			○				1				
		歴史と文化	1・2・3・4後		2			○				1				
人間の思索		1・2・3・4前		2			○			1						
宗教学		1・2・3・4後		2			○								兼1	
	小計(8 科目)		0	16	0		—		2	4	0	0	0	兼1		
社会科学	ジェンダーと法	1・2・3・4後		2			○				1					
	現代社会と法	1・2・3・4後		2			○				1					
	日本国憲法	2・3・4前		2			○									
	現代日本社会論	1・2・3・4前		2			○								兼1	
	今日の東アジア社会	1・2・3・4前		2			○					1				
	国際関係の成り立ち	1・2・3・4後		2			○				1					
	国際経済のしくみ	1・2・3・4前		2			○			1						
	組織運営のしくみ	1・2・3・4後		2			○			1						
	情報と社会	1・2・3・4後		2			○								兼1	
		小計(9 科目)		0	18	0		—		3	2	1	0	0	兼2	
自然科学	持続可能社会の設計	1・2・3・4前		2			○								兼3 オムニバス	
	人をめぐる生命科学	1・2・3・4前		2			○								兼1	
	国際社会における食の安全・安心	1・2・3・4前		2			○								兼1	
	物質と環境	1・2・3・4後		2			○								兼1	
	物理学と現代社会	1・2・3・4後		2			○								兼1	
	数理学と現代社会	1・2・3・4後		2			○								兼1	
	科学論	1・2・3・4後		2			○								兼1	
	小計(7 科目)		0	14	0		—		0	0	0	0	0	兼9		
芸術・ 感性	美術表現	1・2・3・4前		2					○						兼1 ※講義	
	造形表現	1・2・3・4後		2					○						兼1 ※講義	
	音楽表現Ⅰ	1・2・3・4前		2					○						兼2 ※講義	
	音楽表現Ⅱ	1・2・3・4後		2					○						兼2 ※講義	
	小計(4 科目)		0	8	0		—		0	0	0	0	0	兼3		
健康スポーツ 実習	健康スポーツ実習Ⅰ	1前		1					○						兼1	
	健康スポーツ実習Ⅱ	1後		1					○						兼1	
	小計(2 科目)		0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼1		
学部 共通 専門科目	異文化理解	2・3・4前		2			○				1					
	国際社会とジェンダー	3後		2			○				1					
	国際経済学	2後		2			○				1					
	生活と環境	2後		2			○								兼2 オムニバス	
	食料経済学	2後		2			○								兼1	
	食健康論	2前		2			○								兼3 オムニバス	
	社会調査法	2・3前		2			○				1					
	フィールド実践・研究推進論Ⅰ	1・2・3・4前・後		2			○			1	1				兼2	
	フィールド実践・研究推進論Ⅱ	1・2・3・4前・後		2			○			1	1				兼2	
	女性リーダー育成実習	3前		2					○	2						
	女性リーダー育成論	3後		2			○			2						
	人権概論	1・2・3後		2			○								兼1	
	社会と企業	1・2・3前		2			○			1						
	小計(13 科目)		0	26	0		—		3	4	0	0	0	兼8		

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要														
(国際文理学部 国際教養学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科基本科目	文化・歴史	日本文学入門	1前	2		○			1					
		欧米文学入門	1後	2		○			1					
英語学入門		2前	2		○				1					
哲学入門		1後	2		○			1						
歴史学入門		2前	2		○				1					
東アジア地域研究入門		1後	2		○					1				
	小計(6 科目)		0	12	0			3	2	1	0	0	0	
社会システム	法学入門	1・2前	2		○				1					
	政治学入門	1・2後	2		○								兼1	
	経済学入門	1・2前	2		○				1					
	経営学入門	1・2後	2		○									
	社会学入門	1・2後	2		○				1					
	国際関係入門	1・2前	2		○				1					
	情報社会入門	1・2前	2		○								兼1	
	基礎数学	1前	2		○						1			
	基礎統計学	1後	2		○								兼1	
	応用統計学	2前	2		○								兼1	
	小計(10 科目)		0	20	0			1	4	1	0	0	兼3	
学科科目	日本語文化科目	日本史概論	1前	2		○				1				
		日本外交文化史 I	2前	2		○				1				
		日本外交文化史 II	2後	2		○				1				
		儒教思想史	1後	2		○								兼1
		日本伝統芸能	2前	2		○				1				
		奈良時代の文化と文学	2前	2		○			1					
		平安・鎌倉時代の文化と文学	2後	2		○			1					
		江戸時代の文化と文学	2後	2		○			1					
		明治・大正時代の文化と文学	2前	2		○					1			
		書道 I (書道芸術)	1前	2		○								兼1
		書道 II (書道実技)	1後	2		○		○						兼1 ※講義
		美学美術史	1・2後	2		○								兼1
		日本文学史	2前	2		○				1				
		国語表現(音声・文法・表記)	2前	2		○				1				
		和漢比較文学	1後	2		○				1				
		近・現代日本文学の英訳研究	3後	2		○				1				
		中国古典文学 I	2前	2		○								兼1
		中国古典文学 II	2後	2		○								兼1
		日本語文化講読	2後	2				○		1				※講義
		日本語文化文献講読B(かな)	2前	2				○		1				※講義
		日本語文化文献講読A(漢文)	2後	2				○		1				※講義
		日本文化の科学的解析	2・3前	2			○			2				兼2 オムニバス
		日本文化史講義	3後	2			○				1			
	小計(23 科目)		0	46	0			6	2	1	0	0	兼6	
専門科目	日本語文化科目	漢文学講義	3・4前	2		○			1					
		上代日本文学講義	3・4後	2		○			1					
		中古日本文学講義 I	3前	2		○							兼1	
		中古日本文学講義 II	3後	2		○							兼1	
		中世日本文学講義 I	3前	2		○			1					
		中世日本文学講義 II	3後	2		○			1					
		近世日本文学講義 I	3前	2		○			1					
		近世日本文学講義 II	3後	2		○			1					
		近代日本文学講義	3前	2		○					1			
		現代日本文学講義	3後	2		○					1			
		漢文学実践研究	4前	2				○		1				※講義
		古典文学実践研究	4前	2				○		1				※講義
		日本語音韻論	3前	2			○			1				
		日本語表記論	3後	2			○			1				
		日本語文法論	2後	2			○				1			
		国語学実践研究	4前	2				○		1				※講義
	日本語教育概論	2前	2			○				1				
	日本語教授法 I	2後	2			○				1				
	日本語教授法 II	3前	2			○				1				
	日本語教育授業研究	3・4後	2				○			1			※講義	
	小計(20 科目)		0	40	0			5	3	1	0	0	兼1	
演習	日本語文化演習 I	3前	2				○		5	2	1			
	日本語文化演習 II	3前	2				○		5	2	1			
	日本語文化演習 III	3後	2				○		5	2	1			
	日本語文化演習 IV	3後	2				○		5	2	1			
	小計(4 科目)		0	8	0			5	2	1	0	0	0	

教育課程等の概要															
(国際文理学部 国際教養学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学 科 科 目	専 門 科 目	欧米言語文化科目	哲学概論	2前	2		○			1					
			欧米史概論	2後	2		○				1				
			英文学史	2前	2		○			1					
			米文学史	2前	2		○			1					
			英語文化概論	2後	2		○			1					
			ドイツ言語文化概論	2後	2		○			1					
			フランス言語文化概論	2後	2		○				1				
		小計(7 科目)		0	14	0				4	1	0	0	0	0
		英米の文化と文学	中世イギリスの文化と文学	3前	2		○			1					
			近・現代イギリスの文化と文学 I	3前	2		○			1					
			近・現代イギリスの文化と文学 II	3後	2		○			1					
			近・現代アメリカの文化と文学 I	2前	2		○			1					
			近・現代アメリカの文化と文学 II	3前	2		○			1					
			ポストモダン英語圏の文化と文学	2後	2		○			1					
		小計(6 科目)		0	12	0				4	0	0	0	0	0
		英語学	英語音声学	2後	2			○		1					
			英語文法論	3前	2			○			1				
			英語の歴史	2後	2		○				1				
			英語とジェンダー	3後	2		○								
		小計(4 科目)		0	8	0				2	1	0	0	0	0
		英語コミュニケーション	英語コミュニケーション I	2後	2			○							兼1
			英語コミュニケーション II	3前	2			○		1					兼1
			英語通訳の理論と実践	3後	2			○							兼1
			英語文章表現演習 I	2後	2			○		1					兼1
英語文章表現演習 II	3前		2			○									
英語翻訳の理論と実践	3前		2			○		1							
小計(6 科目)		0	12	0				2	0	0	0	0	兼2		
欧米文化論	欧米文化理論	3後	2		○			1							
	科学と文学	3後	2		○			1							
	欧米文学と女性表象	3後	2		○			1							
	欧米文学と映像メディア	3前	2		○			1							
小計(4 科目)		0	8	0				4	0	0	0	0	0		
欧米言語文化文献講読	英米言語文化文献講読 I	3前	2			○		1							
	英米言語文化文献講読 II	3前	2			○		1							
	英米言語文化文献講読 III	3後	2			○			1						
	英米言語文化文献講読 IV	3後	2			○		1							
	ドイツ言語文化文献講読 I	3前	2			○		1							
	ドイツ言語文化文献講読 II	3後	2			○			1						
	フランス言語文化文献講読 I	3前	2			○			1				隔年開講		
	フランス言語文化文献講読 II	3前	2			○			1				隔年開講		
小計(8 科目)		0	16	0				4	3	0	0	0	0		
演習	欧米言語文化演習 I	3前	2			○		7	3						
	欧米言語文化演習 II	3前	2			○		7	3						
	欧米言語文化演習 III	3後	2			○		7	3						
	欧米言語文化演習 IV	3後	2			○		7	3						
小計(4 科目)		0	8	0				7	3	0	0	0	0		
東アジア地域研究科目	東アジア地域関係論	3後	2		○					1					
	東アジアの歴史	2前	2		○								兼1		
	アジアとジェンダー	2前	2		○			1					兼1		
	アジアの現代文化	2後	2		○										
	東アジアの法と社会	2後	2		○			1							
	東アジアの政治と社会	3前	2		○					1					
	東アジア経済論	3前	2		○				1				兼1		
	東アジアの環境	2後	2		○										
小計(8 科目)		0	16	0				2	2	1	0	0	兼3		
中国	中国近現代史	2後	2		○			1							
	中国文化概論	2前	2		○			1							
	中国社会論	2前	2		○			1							
	中国経済論	3後	2		○				1						
小計(4 科目)		0	8	0				2	1	0	0	0	0		
韓国	朝鮮近現代史	2前	2		○								兼1		
	現代韓国の文化	2前	2		○			1							
	韓国社会論	2前	2		○								兼1		
	韓国経済論	3後	2		○										
小計(4 科目)		0	8	0				1	1	0	0	0	兼2		
中国語・韓国語	時事中国語講読	3後	2			○		1							
	時事韓国語講読	3後	2			○		1							
	中国語演習 I	3前	2			○		1							
	中国語演習 II	3後	2			○		1							
	韓国語演習 I	3前	2			○			1						
	韓国語演習 II	3後	2			○			1						
小計(6 科目)		0	12	0				2	1	0	0	0	0		
演習	東アジア地域研究演習 I	3前	2			○		4	1	1					
	東アジア地域研究演習 II	3前	2			○		4	1	1					
	東アジア地域研究演習 III	3後	2			○									
	東アジア地域研究演習 IV	3後	2			○									
小計(4 科目)		0	8	0				4	1	1	0	0	0		

教育課程等の概要														
(国際文理学部 国際教養学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
国際関係科目	国際関係論 I	2前		2		○				1				
	国際開発論	2後		2		○					1			
	開発法学	2後		2		○						1		兼1
	国際機構法	3前		2		○					1			
	国際協力・NPO/NGO論	3後		2		○					1			
	グローバル・フィールド学	3前		2		○					1			
	コミュニケーション学	1・2・3・4前		2		○								兼1
	異文化間コミュニケーション学	1・2・3後		2		○								兼1
	国際社会学	2後		2		○					1			
	グローバル社会と人の移動	2後		2		○					1			
	国際環境政策論	3前		2		○								
小計(11 科目)			0	22	0	-			0	4	1	0	0	兼3
国際関係科目	国際法	2後		2		○				1				
	国際紛争と数理学	2・3後		2		○								兼1
	平和と安全保障	3前		2		○				1				
	国際政治史	3前		2		○				1				
	国際関係論 II	3後		2		○				1				
	政治理論	3前		2		○				1				
	比較政治学	3後		2		○				1				
	現代日本政治	3後		2		○								兼1
	日本政治史	3前		2		○								兼1
	アメリカの政治と社会	3前		2		○								兼1
	ヨーロッパ政治史	2前		2		○				1				
現代ヨーロッパの政治と社会	2後		2		○				1					
南アジアの政治と社会	3前		2		○				1					
国際関係特別講義	3後		2		○				2					
小計(14 科目)			0	28	0	-			0	4	0	0	0	兼4
演習	国際関係演習 I	3前		2			○			5				
	国際関係演習 II	3前		2			○			5				
	国際関係演習 III	3後		2			○			5				
	国際関係演習 IV	3後		2			○			5				
	小計(4 科目)			0	8	0	-			0	5	0	0	0
国際経済・マネジメント科目	経営学	2前		2		○				1				
	国際経営学	2後		2		○				1				
	会計学	2前		2		○								兼1
	経営分析	2後		2		○								兼1
	ファイナンス	3前		2		○								兼1
	日本・アジアの企業経営	3後		2		○				1				
	企業戦略	3前		2		○				1				
	マーケティング論	2後		2		○								兼1
	サービス産業論	2前		2		○								兼2
	アジア産業論	2前		2		○				1				
	経営管理論	2後		2		○				1				
	人的資源管理	3前		2		○								兼1
	認知心理学	2前		2		○								兼1
	社会心理学	2後		2		○				1				
	行動心理学	3前		2		○				1				
	ビジネス英語	2前		2			○			1				兼1 隔年開講
	環境ビジネス	3前		2		○								兼1
小計(17 科目)			0	34	0	-			2	1	0	0	0	兼8
国際経済	ミクロ経済学 I	2前		2		○				1				
	ミクロ経済学 II	2後		2		○				1				
	マクロ経済学 I	2前		2		○				1				
	マクロ経済学 II	2後		2		○				1				
	計量経済学	2前		2		○				1				
	公共経済学	3後		2		○					1			
	財政学	3前		2		○					1			
	金融論	3前		2		○								兼1
	経済政策	3後		2		○				1				
	地域経済	3後		2		○					1			
	経済成長	3後		2		○				1				
	開発経済学	3後		2		○				1				
	日本経済	3後		2		○								兼1
	東アジア経済論	3前		2		○					1			
中国経済論	3前		2		○					1				
EU経済	3後		2		○								兼1	
経済英語	2後		2			○			1				隔年開講	
小計(17 科目)			0	34	0	-			1	2	0	0	0	兼3
演習	国際経済・マネジメント演習 I	3前		2			○			3	3			
	国際経済・マネジメント演習 I	3前		2			○			3	3			
	国際経済・マネジメント演習 II	3後		2			○			3	3			
	国際経済・マネジメント演習 II	3後		2			○			3	3			
	小計(4 科目)			0	8	0	-			3	3	0	0	0
卒業研究	卒業研究演習	4通	4				○			18	13	2		
	卒業論文	4通	4				○			18	13	2		
	小計(2 科目)			8	0	0	-			18	13	2	0	0

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要															
(国際文学部 国際教養学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職科目	教職基礎論	1後			2	○			1						兼1 兼1 兼1 隔年開講 隔年開講 兼1 兼1 3年毎開講 3年毎開講 3年毎開講 兼1 兼1 兼1 隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 兼1
	教育原理	3前			2	○			1						
	教育心理学	2前			2	○				1					
	教育行政学	2後			2	○									
	教育課程論	2前			2	○									
	国語科教育法Ⅰ	3前			2	○			1						
	国語科教育法Ⅱ	3後			2	○			1						
	国語科教育法Ⅲ	3後			2	○									
	国語科教育法Ⅳ	4前			2	○									
	英語科教育法Ⅰ	3前			2	○									
	英語科教育法Ⅱ	3後			2	○					1				
	英語科教育法Ⅲ	3後			2	○					1				
	英語科教育法Ⅳ	3後			2	○					1				
	道德教育の指導	3後			2	○			1						
	特別活動の指導	3後			2	○									
	教育方法学	2後			2	○									
	生徒指導論	3前			2	○					1				
	教育相談論	3後			2	○					1				
	教職実践演習(中・高)	4後			2		○		1	1					
	事前・事後指導	4通			1	○			1	1					
中学校教育実習	2前			2			○	1	1						
高等学校教育実習	4前			2			○	1	1						
学校経営と学校図書館	3・4後			2	○										
学校図書館メディアの構成	3・4前			2	○										
学習指導と学校図書館	3・4前			2	○										
読書と豊かな人間性	3・4前			2	○			1							
情報メディアの活用	3・4後			2	○										
小計(27科目)			0	0	53				3	1	1	0	0	兼6	
合計(345科目)			27	531	68				19	14	13	1	0	兼105	
学位又は称号	学士(国際教養)			学位又は学科の分野			文学関係、法学関係、経済学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
<p>(卒業要件)以下の単位を含んで、124単位以上修得すること。</p> <p>◇学部共通科目:45単位以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ファーストイヤー・ゼミ:2単位必修 ○学術言語プログラム:15単位必修(日本語を母国語としない学生は、学術英語プログラムに代えて、学術日本語プログラムを履修することができる) ○外国語科目:4単位以上選択(いずれか1言語Ⅰ～Ⅳを含む。)日本語を母国語とする学生は、英語Ⅰ～Ⅳを履修しても卒業要件単位に含めない。外国人留学生が外国語科目を選択する場合は、母国語以外の言語を履修すること。 ○情報活用科目:2単位必修 ○日本文化理解科目:2単位以上選択(国際教養学科開講科目の「日本史概論」、「儒教思想史」、「書道Ⅰ(書道芸術)」、「美学美術史」からも選択することができる) ○共通基盤科目:20単位以上選択(総合科目:2単位以上選択、人文科学:2単位以上選択、社会科学:2単位以上選択、自然科学:6単位以上選択) <p>◇学部共通専門科目:6単位以上</p> <p>◇学科科目:60単位以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学科基本科目:10単位以上選択 ○専門科目:42単位以上選択 <p>うち32単位以上は、「日本語文化科目」、「欧米言語文化科目」、「東アジア地域研究科目」、「国際関係科目」、「国際経済・マネジメント科目」のいずれか同一の科目区分からその指定された必修科目(注)6単位を含んで履修するものとする。ただし、「東アジア地域研究科目」にあつては、当該科目区分から28単位以上を含んだ上で「国際関係科目」、「国際経済・マネジメント科目」の科目区分の科目と合せて32単位とすることができる。</p> <p>(注)科目区分から指定された必修科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本語文化科目」:「日本文化の科学的解析」、「日本語文化演習Ⅰ」、「日本語文化演習Ⅱ」 ・「欧米言語文化科目」:「科学と文学」、「欧米言語文化演習Ⅰ」、「欧米言語文化演習Ⅱ」 ・「東アジア地域研究科目」:「東アジアの環境」、「東アジア地域研究演習Ⅰ」、「東アジア地域研究演習Ⅱ」 ・「国際関係科目」:「国際紛争と数理学」、「国際関係演習Ⅰ」、「国際関係演習Ⅱ」 ・「国際経済・マネジメント科目」:「環境ビジネス」、「国際経済・マネジメント演習Ⅰ」、「国際経済・マネジメント演習Ⅱ」 <p>○卒業研究:8単位必修</p> <p>ただし、卒業研究は専門科目の「日本語文化科目」、「欧米言語文化科目」、「東アジア地域研究科目」、「国際関係科目」、「国際経済・マネジメント科目」うち、履修要件を満たした科目区分において行う。</p> <p>◇学部共通科目及び学部共通専門科目並びに他学科を含む学科科目(食・健康学科が指定する科目を除く)から選択履修:13単位以上</p> <p>※履修科目の登録の上限(年間):45単位(「教職科目」等を除く。なお、教授会が認めた場合には上限を超えて履修することができる。)</p>						1学年の学期区分		2 学期							
						1学期の授業期間		15 週							
						1時限の授業時間		90 分							

授 業 科 目 の 概 要			
(人文社会科学研究科社会科学専攻(D))			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
総合演習科目	社会科学総合演習A	社会科学総合演習では、大学院生それぞれが自ら進捗させてきた研究成果について他分野の教員及び大学院生と討議することにより、研究課題の多角的な視点からの深化や独創的な手法を用いた研究の進展を目指す。 本演習では、博士論文のテーマ設定を行うための先行研究のレビューの仕方、文献の読み方に焦点を当て、領域横断的な視点からの分析力や批判力の育成を通して発展性や独創性のある研究課題を発見する能力を養う。	共同
	社会科学総合演習B	社会科学総合演習では、大学院生それぞれが自ら進捗させてきた研究成果について他分野の教員及び大学院生と討議することにより、研究課題の多角的な視点からの深化や独創的な手法を用いた研究の進展を目指す。 本演習では、博士論文の完成に向けて蓄積した研究成果の外化に焦点を当て、学会発表の仕方や学術論文の構成について領域横断的な視点から批評を受けることによつて総合的なプレゼンテーション能力を養う。	共同
	社会科学総合演習C	社会科学総合演習では、大学院生それぞれが自ら進捗させてきた研究成果について他分野の教員及び大学院生と討議することにより、研究課題の多角的な視点からの深化や独創的な手法を用いた研究の進展を目指す。 本演習では、博士論文の学術的価値の明晰化に資する方法論に焦点を当て、データの収集法及び分析法、研究課題の社会的意義づけ等を領域横断的な視点から検討し、新規性に富む研究を遂行する応用力を養う。	共同
専門科目	社会科学特別講義A (国際関係分野)	本授業は、現在世界各地で生起している戦争(紛争)の生成メカニズムを政治的、文化的、社会的側面から複眼的に検証し、その上で平和構築の方策を提示することに主眼を置いている。検証対象地域は、担当教員のフィールドであり、かつ今日混迷の度を深め紛争の拡散が懸念されている中東を中心に据えるが、中国の海洋進出問題や日露、日中、日韓間の領土問題など日本を取り巻く国際情勢の動向にも留意しながら進める。さらに受講生の関心に応じて検証の対象とする地域に変更を加えることもある。	集中・隔年
	社会科学特別講義B (経済分野)	経済成長に伴って、二酸化炭素の排出による地球温暖化の問題と種々の社会問題が現実起こっており、適切な解決および対応が求められている。そのために、これらの問題を長期的なパースペクティブで捉え、何が生起しており、それが何に起因しているかを厳密に把握し、対応策を考えることが重要である。本講義では、内生的成長論の潮流のもとで、社会的に健全なグリーン経済成長という視点からこの問題を考察する。	集中・隔年
	社会科学特別講義C (経済分野)	本講義の目的は、経営学の「総合的アプローチ」すなわち、経営管理、労務管理、生産管理、意思決定、そしてコーポレートガバナンスの個別分野から、日本企業が特徴的に用いてきた日本的経営について論ずることにある。日本的経営は日本の経済社会文化の中でどのように形成されてきたのか、また、現代の日本の伝統文化および環境要因の中で、どの程度変化しつつあるのかについても議論する。まず、日本経済とビジネスの歴史的転換点について概観した後、以下のトピック、雇用慣行(終身雇用や年功序列)、教育訓練(社内外教育訓練や経営者教育)、労使関係(企業別組合や春闘)、意思決定、生産管理(TQC、JIT、Kanban、下請け系列)、企業ガバナンスに関して考察を行う。なお受講生と協議を行いつつ個別の企業の事例を適宜取り上げていく。	集中・隔年
	社会科学特別講義D (国際関係分野)	本講義では、ILO(国際労働機関)が、ベルサイユ平和条約で設置されたことの歴史的意義と、その後の活動(特に基準設定活動)によって国際労働法が規範として確立していったかを研究する。同時に、人権の国際的保障の系譜の中で、国際労働立法が果たした役割を確認することで、国際社会の中の経済社会的協力の実態を特定する。	集中・隔年
研修科目	国際社会特殊研修	自らの専攻分野の有用性を理解して、国際社会における課題解決に活かすことができるよう研修先で実務を体験する。こうした実社会での能動的学習と実践を通して、修得した理論の蓄積を拡張させるのみならず、高度専門職業人に必須の資質を高めることを目的としている。 研修先としては、国内外の公的機関および研究所等において将来のリーダーとなる人材を研修生として受け入れている機関を設定しているので、受講生各自で研修先とプログラムを確認し、選定の上交渉することとする。	共同

授 業 科 目 の 概 要			
(人文社会科学研究科社会科学専攻(D))			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊 研究 科目	社会科学特殊研究 I A	<p>(概要) 修士課程における研究成果を踏まえ、博士後期課程における研究テーマの設定を目標とする。設定した研究テーマに係る文献・資料調査の能力を高めるため、研究指導教員からの指導に基づき調査計画を立て、実施する。なお、副指導教員に対しても適宜研究の進捗状況を報告するとともに、論文執筆に向けた助言を受ける。</p> <p>(1 山下 哲生) 外交政策や国際協力論等に関する研究指導補助を行う。</p> <p>(2 尹 豪) 出生率・人口減少・少子高齢化などの現象を人口経済学理論の手法から分析する能力を修得する。</p> <p>(3 岡 克彦) 韓国を中心とした東アジア諸国の比較法学を対象に演習・講義・研究指導を実施する。日本を含む東アジア諸国の法制度や法文化に関する基本文献の精読を通して研究への導入を行う。</p> <p>(4 チョウドリ マハブブル アロム) 経営戦略の問題としての経営理念や組織文化について、広く文献を渉猟させる。文献精読を通して、経営の国際化の目的について理解を深めさせ、国際経営に関する基礎概念や方法論を修得させる。</p> <p>(5 宮崎 聖子) 家族・地域・国家などをジェンダー、階層、エスニシティ等の視点から分析するための研究手法を修得するための指導を行う。</p> <p>(6 佐藤 秀樹) 育児、知的財産、地方分権といった人口に膾炙する政策課題に関して、それらの各々を経済学的に把握し、政策的インプリケーションを解釈することができる能力を涵養する。</p> <p>(7 鈴木 有美) 組織あるいは社会における人間行動に関する問題意識を深めさせ、関連する先行研究を広くレビューさせる。文献精読を通して、ウェルビーイングや幸福の概念を中心に、政治・経済・経営・教育といった社会活動において適応を目指す人間の心理行動科学の基礎を身に付けさせる。</p> <p>(8 吉田 信) 国際関係の理論的文献の精読を通じて博士論文の執筆に向けた構想をまとめる。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(人文社会科学研究科社会科学専攻(D))			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊研究科目	社会科学特殊研究 I B	<p>(概要) 基礎文献の選択の後、講義を通じて論文のテーマに関連する研究方法・最新研究の動向を確認する。受講者は博士論文の執筆に向けて先行研究を整理し、自らの論文の研究上の意義を明確にする。</p> <p>(1 山下 哲生) 外交政策や国際協力論等に関する研究指導補助を行う。</p> <p>(2 尹 豪) 出生率・人口減少・少子高齢化などの現象に関する資料・データの収集・分析能力を培う。</p> <p>(3 岡 克彦) 社会科学特殊研究IAを踏まえ、比較法学（アジア法）の研究上の特質を把握するため、事例研究に係る先行論文を精読する。</p> <p>(4 チョウドリ マハブブル アロム) 国際ビジネスの学問体系に存する「多国籍企業論」と「国際経営論」の2つについて、両者の独立性を理解させるとともに、多国籍企業の位置付けから共通点と相違点を明確にさせる。</p> <p>(5 宮崎 聖子) IAで扱ったテーマをもとに、ジェンダー・エスニシティなどの分析を事例とする先行研究を講読し、自らの研究の位置づけを確認していく。</p> <p>(6 佐藤 秀樹) 1年前期に涵養した能力を更に深化させ、市場経済全体を経済学的に把握する。そして、市場の機能がもたらし得る社会的なアウトカムと政府がなすべき役割とを理論的に理解する。</p> <p>(7 鈴木 有美) 心理統計の基礎やデータ解析といった心理計量学の理解を深めさせるとともに、心理行動科学における多様な研究方法の中から、自らの研究テーマに適した研究方法を選択し、研究発表の構想をデザインできるように指導する。</p> <p>(8 吉田 信) 国際関係の理論的文献を精査し、受講生の研究関心に応じた先行研究の講読を進め、研究の方向性を導き出すように指導する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(人文社会科学研究科社会科学専攻(D))			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊 研究 科目	社会科学特殊研究ⅡA	<p>(概要) 1年次の研究を踏まえ、研究テーマの専門領域に関する資料・データ収集、それらの整理・分析をすすめる。博士論文の一部を構成するテーマについて、受講者は先行研究を整理しつつ、研究テーマを練り上げていく。各自の研究課題に関連した調査研究の発表を通じ、博士課程における研究課題の報告・議論の手法を修得する。</p> <p>(1 山下 哲生) 外交政策や国際協力論等に関する研究指導補助を行う。</p> <p>(2 尹 豪) 研究発表に向けて資料の調査・収集を行い、個々のデータについて精査を行うとともに先行研究の批判的検討を行う。</p> <p>(3 岡 克彦) 事例研究として韓国を中心とした東アジア地域へのフィールド調査・資料収集などを経て、この地域の法制度と法実態を解明する。</p> <p>(4 チョウドリ マハブブル アロム) 海外直接投資の動機分析そのものを理論的な中心課題としている多国籍企業論の理解を深め、実証分析等の研究方法論を獲得させる。</p> <p>(5 宮崎 聖子) IA・IBで扱ったテーマをもとに、各自の研究関心に応じてフィールド・ワークを実施する。</p> <p>(6 佐藤 秀樹) 先端的研究への橋渡しとして、市場 - 政府間関係のみならず法・制度をも考慮した新しい政策論に関する文献的系譜をレビューする。</p> <p>(7 鈴木 有美) 大学院生が自ら計画した研究発表を実行に移すことができるように指導する。受講者が自らの論文構想に対して批判的な検討が行えるようにし、論文執筆の準備を整えさせる。</p> <p>(8 吉田 信) 国際関係論の古典的な理論研究に加え、現代の国際関係理論の展開について理解を深める。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(人文社会科学研究科社会科学専攻(D))			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊 研究 科目	社会科学特殊研究ⅡB	<p>(概要) 学位論文の構想を確定し、学位論文構想を反映したレポートもしくは論文の執筆を進める。既存研究の整理を済ませるとともに、学位論文の構想を発表し、研究指導教員、副指導教員および他分野の教員からの批判的考察を受ける。</p> <p>(1 山下 哲生) 外交政策や国際協力論等に関する研究指導補助を行う。</p> <p>(2 尹 豪) 先行研究の整理を済ませ、博士論文の構想を事前発表するとともに、論文構想をまとめる。</p> <p>(3 岡 克彦) 事例研究として韓国を中心とした東アジア地域へのフィールド調査・資料収集をさらに深化させて、博士論文の構想を固める。</p> <p>(4 チョウドリ マハブブル アロム) 世界の多国籍企業にとって無視できない存在である日本において、多国籍企業が直面する困難（市場への参入・浸透、独特なビジネス慣習、不透明な規制など）についての論文を作成させる。</p> <p>(5 宮崎 聖子) 各自の研究関心に応じたフィールド・ワークを踏まえ論文執筆に必要な理論枠組み・研究手法などを論文構想に盛り込み、博士論文執筆に向けた報告を行う。</p> <p>(6 佐藤 秀樹) 2年前期に蓄積した知識に基づいて、法と経済学もしくは公共経済学等に関する先端的研究を精読し、オリジナリティーを開拓する。また、学会報告の予行や報告後の対応についても適切に指導する。</p> <p>(7 鈴木 有美) これまでの研究成果を投稿論文にまとめさせる。査読コメントに適切に対応する論文修正作業を通して、研究者としての素養と能力の向上を図り、論文が採択されるよう指導する。その論文を中心に組み込んだ博士論文の構想をまとめさせる。</p> <p>(8 吉田 信) 国際関係論の基礎文献・先行研究の整理を終え、博士論文執筆に向けて論文構想を進める。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(人文社会科学研究科社会科学専攻(D))			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊研究科目	社会科学特殊研究ⅢA	<p>(概要) 社会科学特殊研究Ⅱにおいてまとめた博士論文の構想を基に、学位申請のための予備論文を作成させ、提出させるための指導を行う。提出後は、予備論文審査に合格させるための指導を行う。</p> <p>(1 山下 哲生) 外交政策や国際協力論等に関する研究指導補助を行う。</p> <p>(2 尹 豪) 出生率・人口減少・少子高齢化などの現象に関する資料・データの分析を行うことによりデータの収集・分析をまとめて、博士論文構想を具体化させ予備論文をまとめさせる。</p> <p>(3 岡 克彦) 比較法学(アジア法)の研究上の特質を把握した上で、事例研究を踏まえて、博士論文構想を具体化させ予備論文をまとめさせる。</p> <p>(4 チョウドリ マハブブル アロム) 特にアジア諸国に進出した日本企業の国際的経営組織について実証的に検証し、考察を行った博士論文構想から学位申請のための予備論文をまとめさせる。</p> <p>(5 宮崎 聖子) ジェンダー・エスニシティなどの分析事例を確認しつつ、博士論文構想を具体化させ予備論文をまとめさせる。</p> <p>(6 佐藤 秀樹) 学会報告論文の改訂と相俟って、その論文に直結した先駆的研究以降の文献的系譜を丹念にレビューし、博士論文を構想する。更に、学会報告の予行や報告後の対応についても指導する。</p> <p>(7 鈴木 有美) 2年次においてまとめた博士論文構想から学位申請のための予備論文を作成し、提出させる。予備論文審査に合格できるよう指導を行う。</p> <p>(8 吉田 信) 国際関係の理論的文献を精査し、受講生の研究内容を深めて、博士論文構想を具体化させ予備論文をまとめさせる。</p>	
	社会科学特殊研究ⅢB	<p>(概要) 予備論文審査合格を経て、博士論文提出資格を得た大学院生に対する助言を中心として授業を進める。これまでの研究成果を博士論文として結実させるとともに、博士論文提出後は公開審査に合格するための指導を行う。</p> <p>(1 山下 哲生) 外交政策や国際協力論等に関する研究指導補助を行う。</p> <p>(2 尹 豪) 人口経済学に関する学位論文を完成させ、博士の学位取得に向けた指導を行う。</p> <p>(3 岡 克彦) 比較法学(アジア法)に関する学位論文を完成させ、博士の学位取得に向けた指導を行う。</p> <p>(4 チョウドリ マハブブル アロム) これまでの研究成果を基に、国際経営・経済分野及びアジア諸国における企業経営に関する博士論文を完成させ、博士の学位取得に向けた指導を行う。</p> <p>(5 宮崎 聖子) ジェンダー研究に関する学位論文を完成させ、博士の学位取得に向けた指導を行う。</p> <p>(6 佐藤 秀樹) 3年前期の構想に基づき、経済分野における政策論として従前の研究成果を整理し、博士論文に結実させる。</p> <p>(7 鈴木 有美) これまでの研究成果を基に、社会活動における適応をテーマとした心理行動科学に関する博士論文を完成させ、博士の学位取得に向けた指導を行う。</p> <p>(8 吉田 信) 国際関係論に関する学位論文を完成させ、博士の学位取得に向けた指導を行う。</p>	